

2019/1/24（木） 三翠園にて 新春講演会・賀詞交歓会を開催

●新春講演会

演題 坂本龍馬記念館のこれまでとこれから
－龍馬の実像を求めて－

講師は、龍馬の血をひく坂本龍馬記念館館長の高松清之氏。坂本家と高松家との由縁にふれた後、残された資料から龍馬の実像にせまる講演をして頂きました。

以下に、来館者の声を載せます。龍馬の実像をよく言い表していると思われま。



高松館長による講演会

「拝啓 龍馬殿」

「今日やっと龍馬記念館に来ることができました。龍馬の心の中に飛び込んだ様な思いです。何をどう考え、どう目指したか、まるであなたは日本の歴史の上にその天命を授かって世に降り、そして又その使命を終えて天に帰ったかの様に思えてなりません！私はいつも、龍馬だったらこの場をどう考え、どう判断しただろうか？という事を私の思い、考え方の基準としています。これからももっともあなたの事を知って、私の人生の指針としたい！と考えています。」



「現在私は20歳になり、今後の生き方や自分自身について多くの悩みを抱えています。

あなたは様々な人の意見を取り入れ、それだけでなくそれらを合わせた自分だけの世界観持っておられます。そのようなあなたに会うことで何かを自分もつかめるのではないかと感じ、あなたに会いにやってきました。ここを訪れ、あなたの雄大さや自由さを感じることができ、とても幸せです。あなたのように自由で様々な考え方をもち、行動力のある生き方をしたいと改めて感じさせられました。」

●賀詞交歓会 表彰者のご披露および感謝状の贈呈

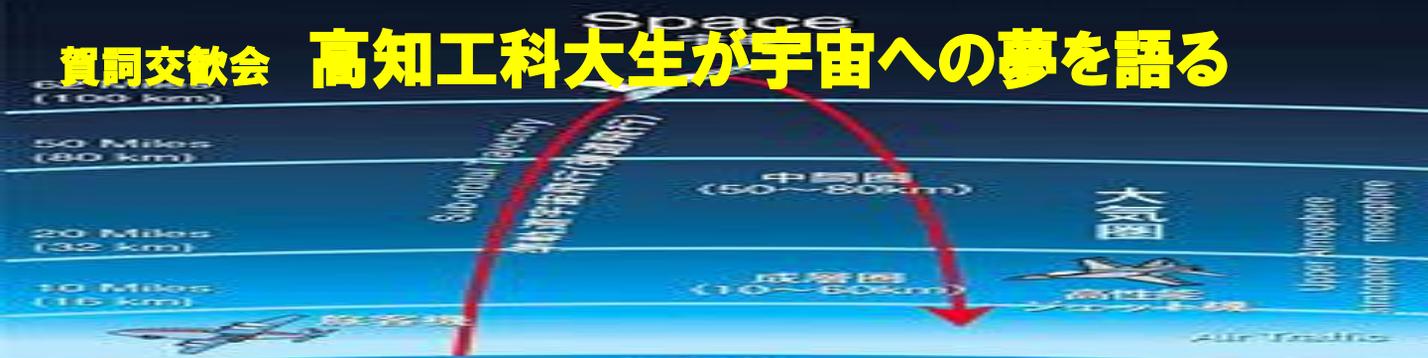


表彰者を代表して井戸氏が挨拶

- 平成30年「海の日」海事関係功労者 国土交通大臣表彰
(株)特殊製鋼所 井戸 浩道氏
- 平成30年度四国地方発明表彰 文部科学大臣賞
(株)垣内 宇賀 政綱氏、井関 徹元氏
- 高知県産業技術功労表彰
(株)技研製作所 田内 宏明氏
(有)サーマル工房 谷村 正樹氏
- 南国市技能功労者表彰
(株)エスイージー 岡本 知晋氏
- 感謝状贈呈（エジソン賞へのご寄付） 藤本塗料興業(株)

宇宙へロケットを飛ばす！

賀詞交歓会 高知工科大生が宇宙への夢を語る



●高知県に宇宙産業の創出を！

高度 1 Kmを超える自作ロケットの完成を2019年度内に目指す高知工科大学の学生団体「RaSKラスク」のメンバーが賀詞交歓会でロケットにける夢を語りました。

会の冒頭で代表の池田直崇さん（システム工学群3年）が高知県に宇宙産業創出を熱く語り、試作ロケットや設計図を展示し、製作費や部品加工技術の協賛を呼びかけました。

●工業会とラスクの出会いは？

昨年の夏、エンジン開発に苦心していた池田代表が山崎技研で職場体験。ロケット製作への一途な思いに山崎会長が感心し、エンジンの重要部品で噴射圧を高める「**燃烧ノズル**」を開発して提供したきっかけで同会長が賀詞交歓会に招待しました。



ラスク代表 池田さんのプレゼン



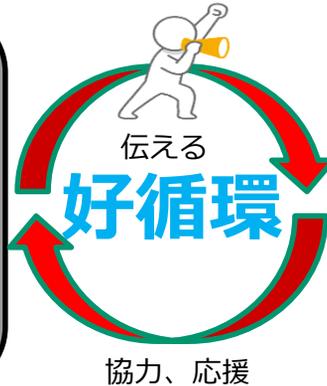
展示物を説明する池田さん
ロケット：全長約1.8m。重さ約8kg

★まずは、小型のエンジンから

着実な一歩を踏み出し、次へつなげる



大学生、教員



協力、応援



地域の方々、企業



1km

夢の
100km

自分たちの活動を伝える、魅せる、応援してもらおう

高知高専との交流事業

●より実効性の高い取組みを目指して

この4年間、高専との交流を推進強化を図るために様々な取組みを行ってきました。昨年度は会員企業への就職者数も増加。一定の成果は得られましたが、2019年度は今までの取組みを見直し、より実効性の高い取組みを目指してまいります。



2018/12/18 (1年)



2018/12/13 (2年)



2018/12/18 (1年)



2019/1/29 (1年)

●バスツアー企業見学12/18 (1年) 参加企業8社

●業種研究会 参加企業12社

行事予定

2月	8	金	エジソン賞審査会
	19	火	受注拡大委員会
	25	月	東工業高校との意見交換会
	26	火	総務委員会 事業戦略促進委員会
3月	3	日	ソフトボール大会
	7 (木) - 8 (金)		プレゼン実践研修
	10	日	エジソン賞表彰式
	19	火	事業戦略促進事業成果報告会
	27	水	理事会

■プレゼン実践研修 ご案内

募集中!

現在、

日時 平成31年3月7日(木) - 8日(金) **7名の申し込み**
 場所 高知県立地域職業訓練センター **定員は20名**
 定員 20名 ※締切 2/22

■ソフトボール大会 ご案内

募集中!

現在、

日時 平成30年3月3日(日) **2チーム申し込み**
 場所 南国市スポーツパーク
 ※締切 2/15

「編集後記」 龍馬記念館の来館者は殆どが県外から。高松館長が一番言いたかったことは「みんな行こう龍馬記念館」だったのではないかと。工科大生のロケット開発。予想以上に反響は大きく、若手経営者が2次会に学生を誘い、若者同士、大いに夢を語り合ったとか。若手経営者の技術的支援、また協賛金も大いに期待できるのではないかと思います。さて、本メルマガは業務の見直しにより、次号から隔月発行とさせていただきます。ご理解の程、よろしく願いいたします。(にしうち)